

箴言 3 自分の心を守れ

2018/01/24 聖書研究会

1. 【箴言全体に響く中心的メッセージ】

「1:7 主を畏れることは知恵の初め。」

2. 「4:6 知恵を捨てるな／彼女はあなたを見守ってくれる。分別を愛せよ／彼女はあなたを守ってくれる。」

・「知恵」も「分別」も女性として人格化されている。

3. 「4:18 神に従う人の道は輝き出る光／進むほどに光は増し、真昼の輝きとなる。

4:19 神に逆らう者の道は闇に閉ざされ／何につまずいても、知ることはない。」

・「神に従う人」「神に逆らう」の対比。前者への招き。また警告。

4. 「4:23 何を守るよりも、自分の心を守れ。そこに命の源がある。」

・外見ではなく心を大切にすることを勧める。

サムエル記上「16:7 しかし、主はサムエルに言われた。『容姿や背の高さに目を向けるな。わたしは彼を退ける。人間が見るようには見ない。人は目に映ることを見るが、主は心によって見る。』」

イスラエルの王となるべき人を神が選ばれるとき、「心」を基準とされた。ダビデ。

マルコ「7:20 (イエスは) 更に、次のように言われた。『人から出て来るものこそ、人を汚す。21 中から、つまり人間の心から、悪い思いが出て来るからである。みだらな行い、盗み、殺意、22 姦淫、貪欲、悪意、詐欺、好色、ねたみ、悪口、傲慢、無分別など、23 これらの悪はみな中から出て来て、人を汚すのである。』」

心が清められること、心に聖霊が宿ってくださることこそが大切。

5. からだの器官の連続 (20 節以下)

耳、目、心 (心臓)、全身、口、唇、まつげ (「まなざし」と訳)、足

・心と体全体をもって神の道を歩むことの勧め。